

「全国大会における投手関節機能検査結果を用いた投球数制限の 検証研究」について

令和4年7月

公益財団法人
日本高等学校野球連盟

日本高等学校野球連盟（以下、「当連盟」）は投手の障害予防を目的として、令和2年シーズンインから投球数制限（公式戦で1人の投手が投球できる総数は1週間500球以内）を実施しています。

投球数制限の検証においては、当連盟が選抜高等学校野球大会（以下、「選抜大会」）、全国高等学校野球選手権大会（以下、「選手権大会」）で実施してきた投手関節機能検査結果、個人特性データ（学校名、性別、生年月日、利き腕）などのデータをもとに分析を行うことと致します。

つきましては、該当する対象者におかれましては、下記についてご理解・ご協力のほどお願い致します。

本研究で得た個人情報の取り扱いについては、当連盟が責任を持って行います。

また、本研究への協力を望まれない場合は、研究対象とは致しませんので、下記連絡先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

1. 目的

本研究は、投手の1週間500球以内の投球数制限と肩・肘への障害予防との関連について検証することを目的としています。

検証にあたり、令和4年から令和6年に開催する予定の全国高等学校野球選手権大会（第104回、第105回）、選抜高等学校野球大会（第95回、第96回）にて全試合終了後の投手関節機能検査を実施し、従来よりも多くのデータ収集を行い、投球数制限の検証を行います。

これらの結果を用いて、更なる高校野球での投手の障害予防対策を推進していくことを目指します。

2. 研究方法

（1）対象者

- ①第73回選抜大会、第83回選手権大会（両大会とも平成13年開催）以降で大会前、大会中に実施した関節機能検査対象者

（2）実施期間

令和3年から令和6年（予定）

（3）方法

- ①当連盟委嘱による「投球制限検証ワーキンググループ」（令和3年2月発足）にて、収集したデータを分析し、1週間500球の妥当性について検証します。

②データは、当連盟が暗号化・管理するIDを割り付け、投球データ（球数や投球間隔等）と検査結果（痛みや可動域等）の紐付を行い、個人が特定されない情報として解析致します。またデータの取り扱いは、厳重に管理および保管致します。

3. 研究成果の取り扱い

本研究の成果は、投球数制限検証結果として公表予定です。また、学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

4. 問い合わせ先

本研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

また、関節機能検査対象者の方で、ご自身のデータを本研究に使用することをご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、「個人情報削除申請書」をご記入のうえ、申請書をFAXにてお送りください。

データの使用を断られても対象者に不利益が生じることはありません。

公益財団法人 日本高等学校野球連盟

〒550-0002

大阪市西区江戸堀1-22-25

中沢佐伯記念野球会館

電話番号：06-6443-4661

FAX：06-6443-1593

以上